【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成24年6月14日(2012.6.14)

【公開番号】特開2011-172986(P2011-172986A)
【公開日】平成23年9月8日(2011.9.8)
【年通号数】公開・登録公報2011-036
【出願番号】特願2011-106134(P2011-106134)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０

【手続補正書】
【提出日】平成24年4月26日(2012.4.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
各々を識別可能な複数種類の識別情報を可変表示する可変表示部を備え、前記可変表示部における識別情報の表示結果があらかじめ定められた特定表示結果となったときに、遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御する遊技機であって、
前記特定表示結果とするか否かを、識別情報の表示結果が導出表示される以前に決定する事前決定手段と、
前記事前決定手段の決定結果にもとづいて、所定の予告演出を決定する予告演出決定手段と、
前記予告演出決定手段により決定された前記予告演出を行う予告演出実行手段と、
識別情報の可変表示状態を所定のリーチ状態とした後に表示結果を導出表示する手段であって、該リーチ状態とされたときはされなかったときよりも高い割合で前記特定表示結果となるように、該リーチ状態とするリーチ変動実行手段とを備え、
前記予告演出決定手段は、
予め定められた順番に従って１段階目の演出から複数段階目の演出まで複数の演出を段階的に行う予告演出であって、前記特定表示結果とする場合は該特定表示結果としない場合よりも高い割合で予め定められた段階目の演出まで演出が行われるステップアップ予告演出を決定するステップアップ予告演出決定手段と、
前記ステップアップ予告演出決定手段で前記ステップアップ予告演出を決定したか否かに関わらず前記ステップアップ予告演出で行う前記複数の演出とは異なる演出により前記特定表示結果となる可能性があることを報知する他系統予告演出を決定する他系統予告演出決定手段とを含み、
前記ステップアップ予告演出において、所定段階目の演出まで演出が段階的に行われたときは、前記リーチ変動実行手段により識別情報の可変表示状態がリーチ状態とされ、
前記予告演出実行手段は、
前記所定段階目の演出が行われ得る期間に前記他系統予告演出を行い、
さらに、前記ステップアップ予告演出決定手段において前記所定段階目以上の演出まで行うことに決定したときよりも、前記所定段階目未満の演出まで行うことに決定したときの方が前記他系統予告演出を高い割合で行い、
前記予告演出決定手段は、実行する予告演出を決定する予告決定手段を含み、

前記予告演出実行手段は、前記予告決定手段によって予告演出としてステップアップ予告演出が決定されたことにもとづいて、該ステップアップ予告演出を実行し、
前記予告決定手段は、実行する予告演出として、小サイズキャラクタ画像を表示することによるキャラクタ予告演出を前記ステップアップ予告演出よりも高い割合で決定する
ことを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
本発明による遊技機は、各々を識別可能な複数種類の識別情報（例えば、第１特別図柄、第２特別図柄、演出図柄）を可変表示する可変表示部（第１特別図柄表示器８ａ、第２特別図柄表示器８ｂ、演出表示装置９）を備え、可変表示部における識別情報の表示結果があらかじめ定められた特定表示結果（例えば、大当り図柄）となったときに、遊技者にとって有利な特定遊技状態（例えば、大当り遊技状態）に制御する遊技機であって、特定表示結果とするか否かを、識別情報の表示結果が導出表示される以前に決定する事前決定手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ５６０におけるステップＳ６１の処理を実行する部分）と、事前決定手段の決定結果にもとづいて、所定の予告演出を決定する予告演出決定手段と、予告演出決定手段により決定された予告演出を行う予告演出実行手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ１００におけるステップＳ８４６～Ｓ８５５の処理を実行する部分）と、識別情報の可変表示状態を所定のリーチ状態とした後に表示結果を導出表示する手段であって、リーチ状態とされたときはされなかったときよりも高い割合で特定表示結果となるように、リーチ状態とするリーチ変動実行手段とを備え、予告演出決定手段は、予め定められた順番に従って１段階目の演出から複数段階目の演出まで複数の演出を段階的に行う予告演出であって、特定表示結果とする場合は特定表示結果としない場合よりも高い割合で予め定められた段階目の演出まで演出が行われるステップアップ予告演出を決定するステップアップ予告演出決定手段と、ステップアップ予告演出決定手段でステップアップ予告演出を決定したか否かに関わらずステップアップ予告演出で行う複数の演出とは異なる演出により特定表示結果となる可能性があることを報知する他系統予告演出（例えば他系統液晶予告演出：なお、他系統予告演出は特定のステップアップ予告演出（例えば第１ステップアップ予告演出）と別系統の演出であればよく、他系統液晶予告演出に限られない。）を決定する他系統予告演出決定手段とを含み、ステップアップ予告演出において、所定段階目の演出まで演出が段階的に行われたときは、リーチ変動実行手段により識別情報の可変表示状態がリーチ状態とされ、予告演出実行手段は、所定段階目の演出が行われ得る期間に他系統予告演出を行い（例えば、図７８に示すように、第１ステップアップ予告演出において予告演出Ｃが実行されず、その代わりに他系統液晶予告演出が実行される。具体例として、図９４および図９５に示すように、予告演出Ｂから予告演出Ｃへの変化タイミングに到達したにもかかわらず次の予告演出Ｃが実行されなかった場合（図９４（５－４））、その変化タイミング以降に他系統液晶予告演出を実行する（図９５（５－５）または（５－６））。）、さらに、ステップアップ予告演出決定手段において所定段階目以上の演出まで行うことに決定したときよりも、所定段階目未満の演出まで行うことに決定したときの方が他系統予告演出を高い割合で行い、予告演出決定手段は、実行する予告演出を決定する予告決定手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ１００におけるステップＳ５７３，Ｓ５７６，Ｓ５７９，Ｓ５８１，Ｓ５８３を実行する部分）を含み、予告演出実行手段は、予告決定手段によって予告演出としてステップアップ予告演出（例えば、第２ステップアップ予告演出）が決定されたことにもとづいて、該ステップアップ予告演出を実行し（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ１００は、ステップＳ５２０，Ｓ８４５，Ｓ８４６～Ｓ８４８を実行することによって、図８３～図８５に示すような予告演出Ｘ（図８３（２－２））、予告演出Ｙ（図８３（２

－３））、予告演出Ｚ（図８５（２－７））を実行する）、予告決定手段は、実行する予告演出として、小サイズキャラクタ画像を表示することによるキャラクタ予告演出をステップアップ予告演出よりも高い割合で決定することを特徴とする。

そのような構成によれば、ステップアップ予告演出が一旦終了したように見せかけた後に他系統予告演出が実行されて、遊技者の特定遊技状態に対する期待を再度抱かせることができ、より一層興趣の向上を図ることができる。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】削除
【補正の内容】